



1. 2025年3月期第3四半期 決算概要
2. 業績予想の修正、配当予想の修正（増配）、
配当方針の変更
3. Appendix



1. 2025年3月期第3四半期 決算概要
2. 業績予想の修正、配当予想の修正（増配）、
配当方針の変更
3. Appendix



■ 第3四半期の業績は、**累計・四半期ともに過去最高**を達成

■ 特別賞与、医療機器の投資拡大を決定、**第4四半期に追加費用**を計上予定

■ 通期の**業績予想を上方修正、増配、配当方針の変更**も実施

【ポイント】

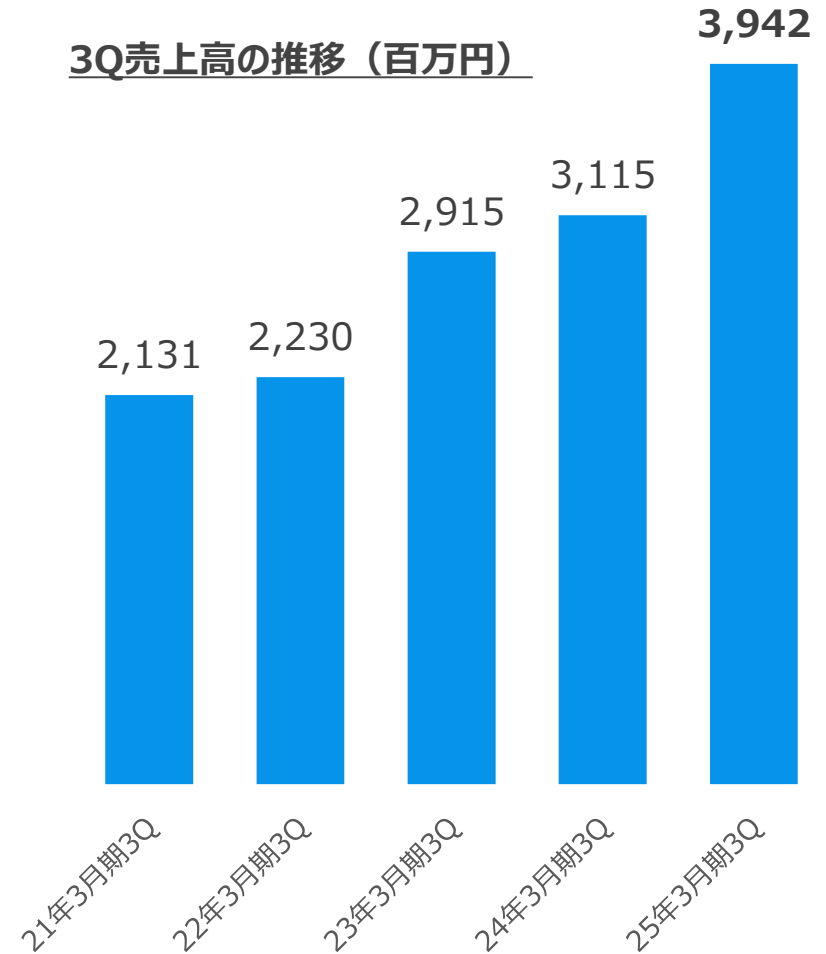
- ・連結売上高3,942百万円（前年同期比26.5%増）、営業利益590百万円（同70.8%増）、
経常利益590百万円（同76.2%増）、純利益409百万円（同85.5%増）
- ・期初の業績予想に対する進捗率は、売上高で81.8%、営業利益で94.4%、経常利益では94.5%を達成

2025年3月期第3四半期 決算サマリー

売上高、各利益ともに
過去最高を更新

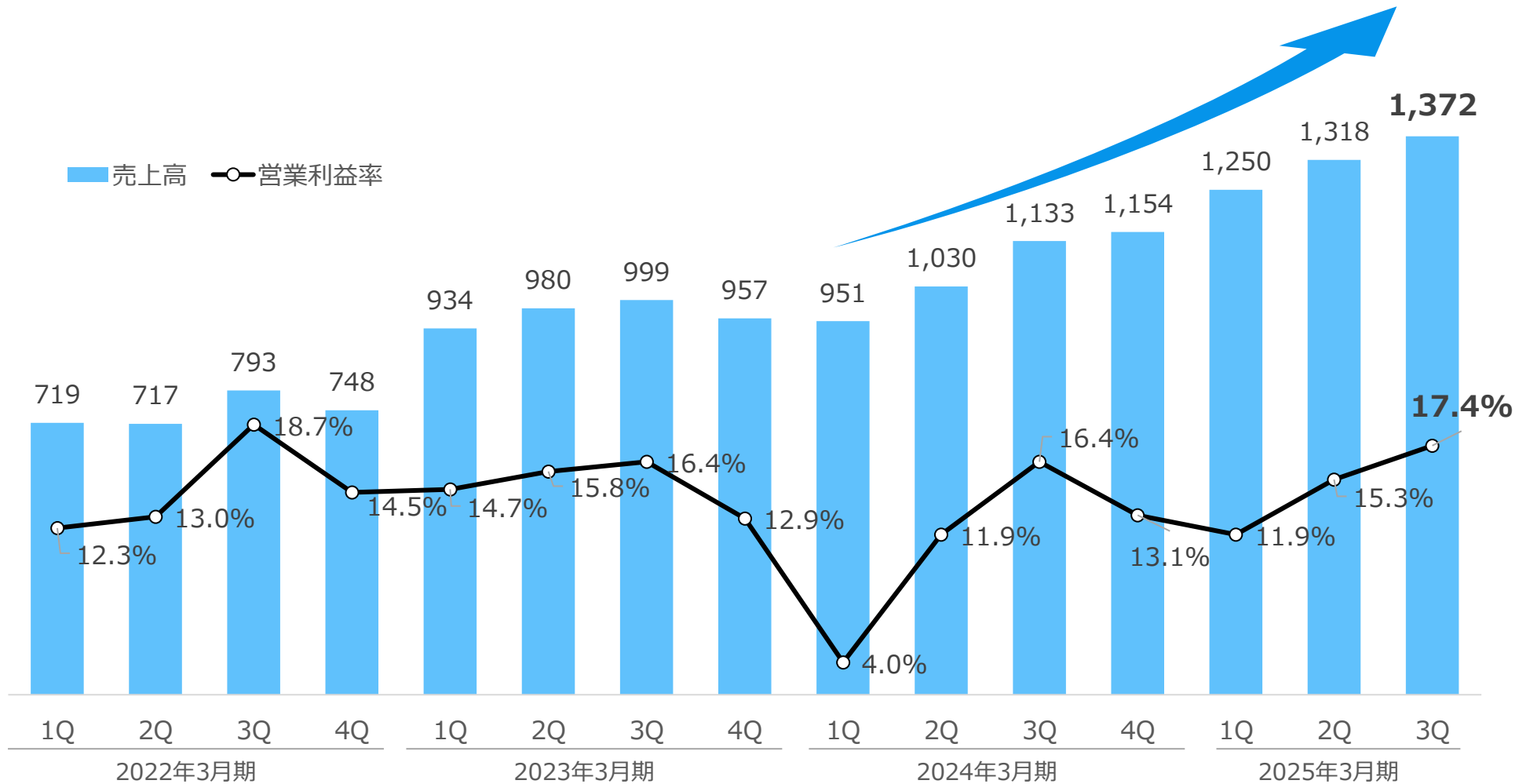
(百万円)	2024年 3月期	2025年3月期	
	3Q累計 実績	3Q累計 実績	前年同期比
売上高	3,115	3,942	+26.5%
二次診療サービス	2,115	2,822	+33.4%
画像診断サービス	403	408	+1.4%
健康管理機器レンタル・ 販売	591	702	+18.8%
売上原価 + 販管費	2,769	3,351	+21.0%
営業利益	345	590	+70.8%
経常利益	335	590	+76.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	220	409	+85.5%
1株当たり 四半期純利益	80.2円	157.8円	+96.8%

3Q売上高の推移 (百万円)



四半期決算 業績推移

- 第3四半期の売上高は1,372百万円となり、**6四半期連続で過去最高を更新**
- 第3四半期の各利益も**過去最高を更新**

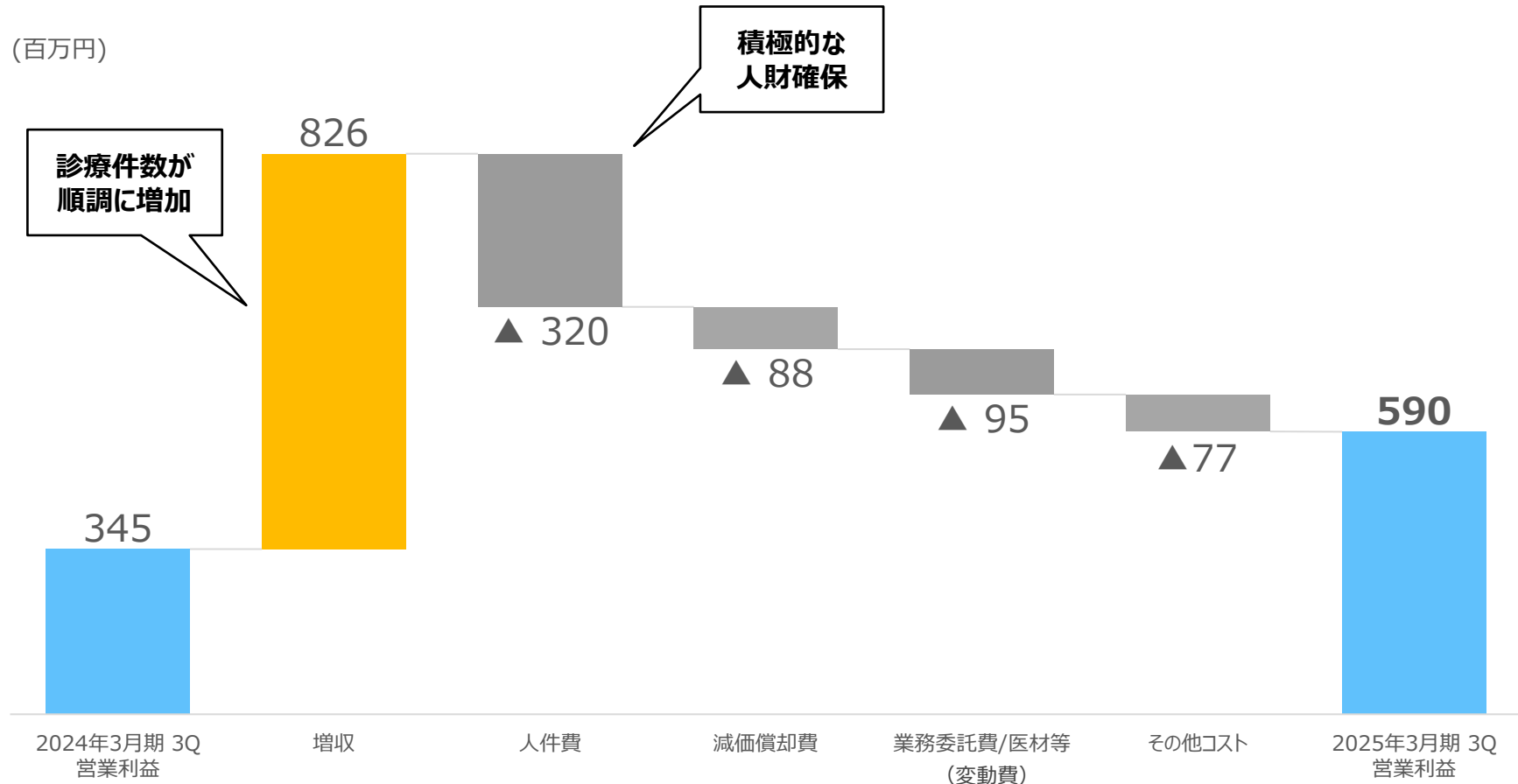


バランスシート状況

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期 3Q	前期末比
流動資産	1,777	1,544	▲232
現預金	1,337	1,025	▲312
売掛金	297	343	+46
商品及び製品	74	88	+13
固定資産	6,992	7,084	+91
有形固定資産	6,151	6,281	+130
無形固定資産	548	498	▲49
総資産	8,770	8,628	▲141
負債	4,958	4,591	▲366
有利子負債	3,856	3,642	▲213
純資産（株主資本）	3,811	4,036	+225
自己株式	▲410	▲553	▲143
負債純資産合計	8,770	8,628	▲141

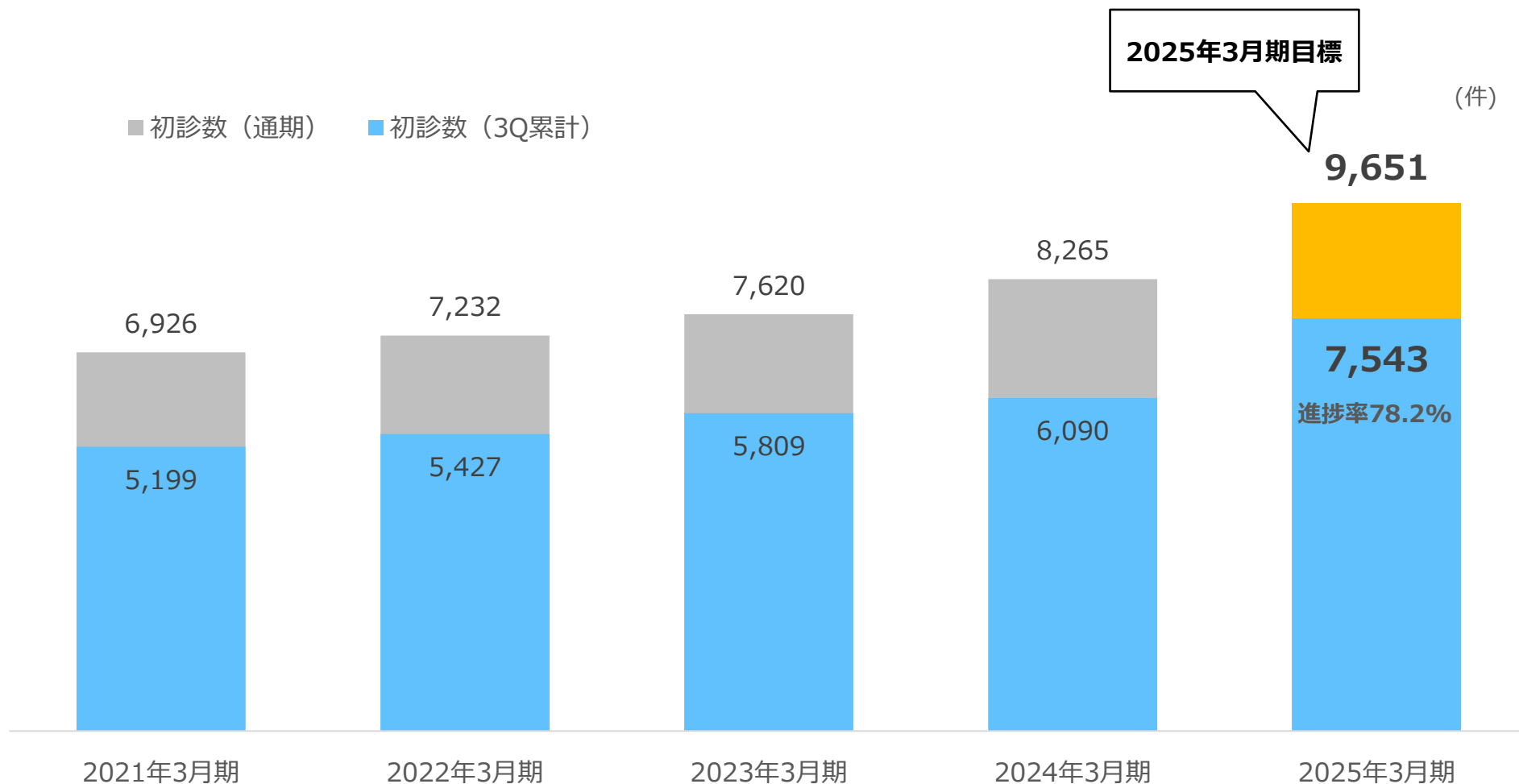
営業利益増減要因

- 人財、医療機器、システム等への投資による先行コストを増収でカバーし増益（前年同期比70.8%増）



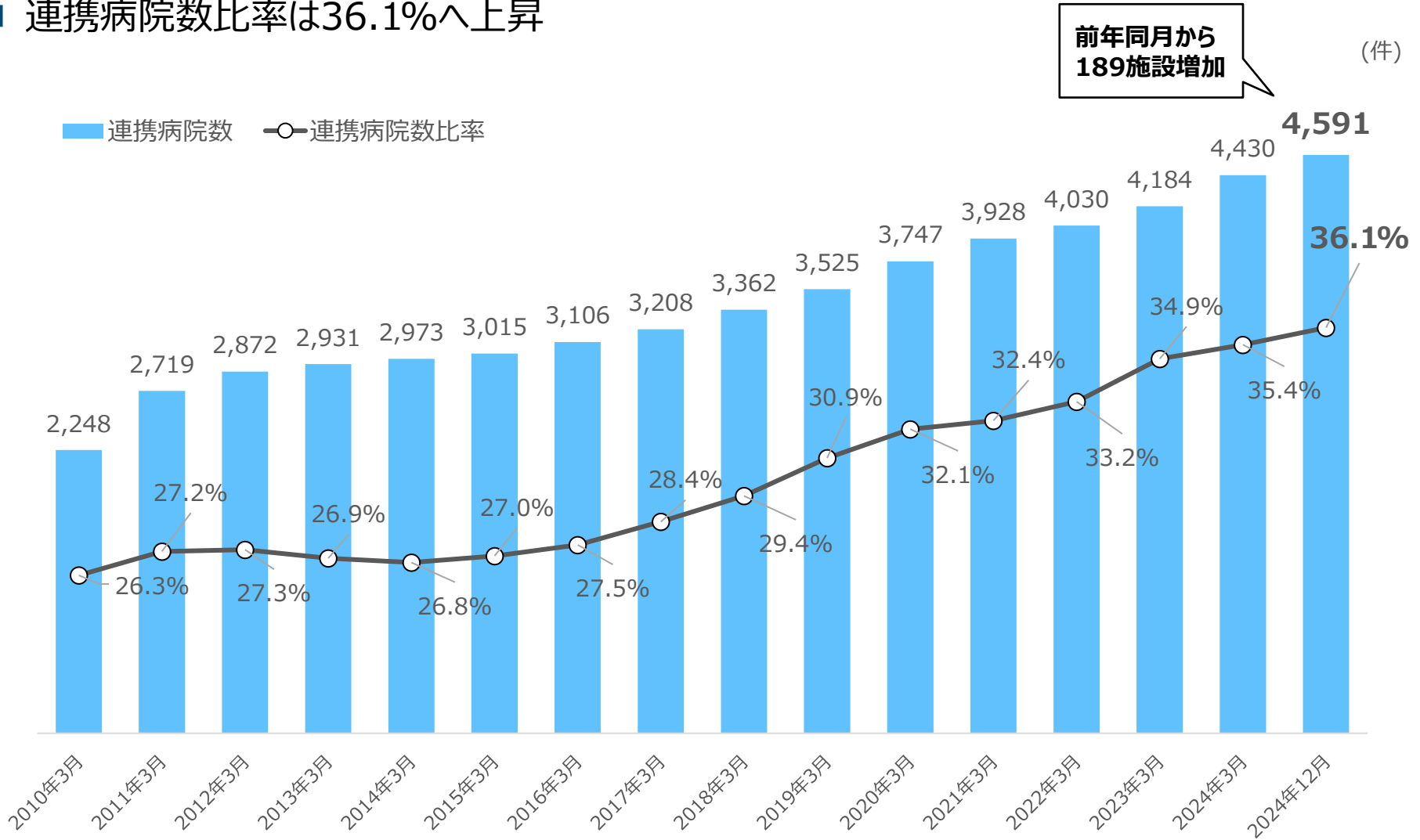
事業KPI：初診数（紹介数）

- 新規病院（大阪）、既存病院（川崎、東京、名古屋）ともに初診数が順調に増加



事業KPI：連携病院数

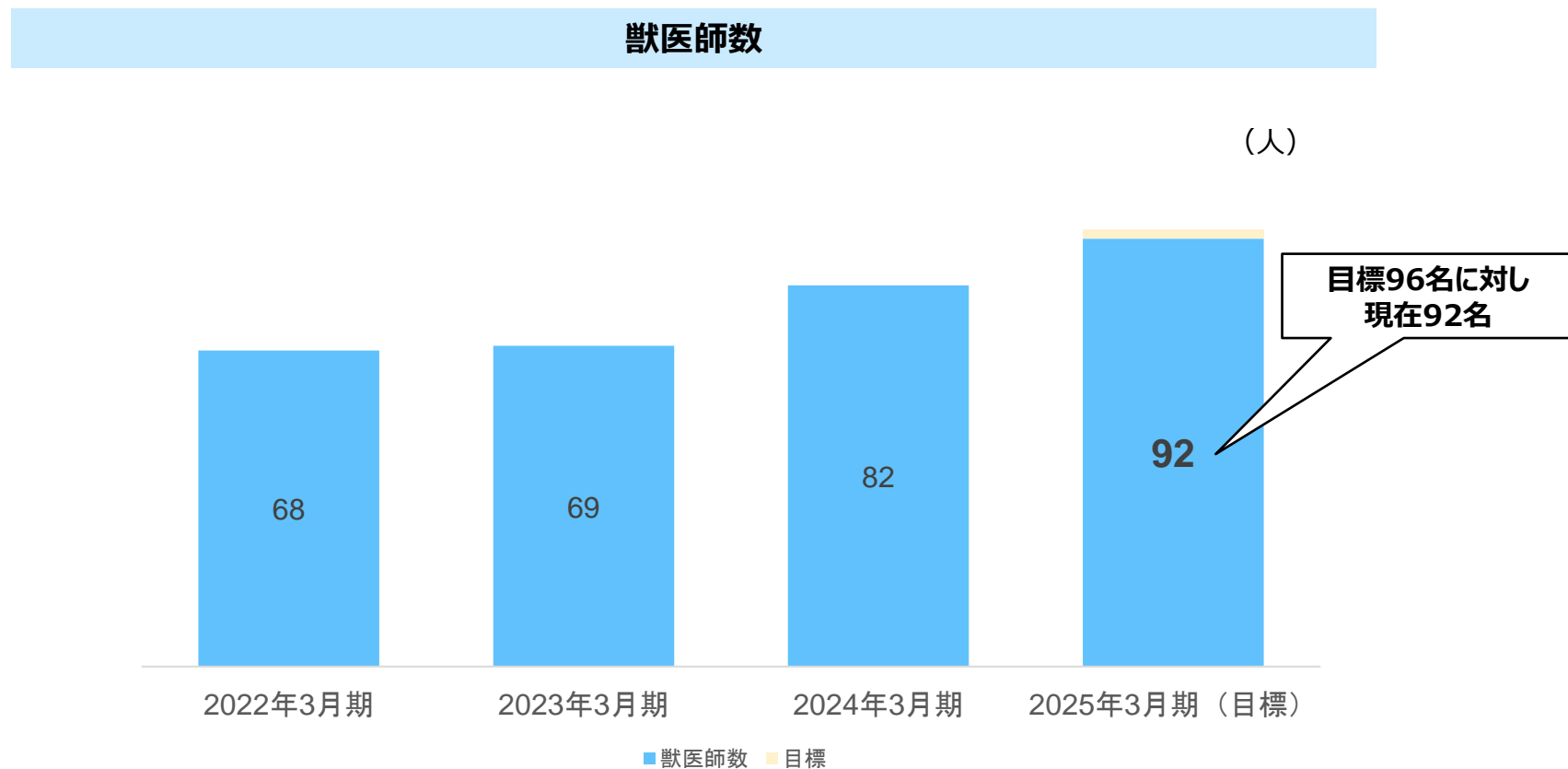
- 2024年12月末の連携病院数は4,591施設となり、前年同月から189施設増加
- 連携病院数比率は36.1%へ上昇



*連携病院数比率は農林水産省（令和5年12月末時点の小動物診療施設の件数）の開設届出数をもとに算出

事業KPI：獣医師の採用状況

- 2025年3月期3Q末時点では、獣医師は目標に対して92名の進捗



1. 2025年3月期第3四半期 決算概要
2. 業績予想の修正、配当予想の修正（増配）、
配当方針の変更
3. Appendix



業績予想の修正

- 業績の動向を踏まえ、業績予想を上方修正
- 第4四半期は特別賞与と医療機器・医療器材等への追加投資（約70百万円）を実施
- その結果、各利益の伸び率が鈍化する見込みだが、診療の質のさらなる向上に貢献

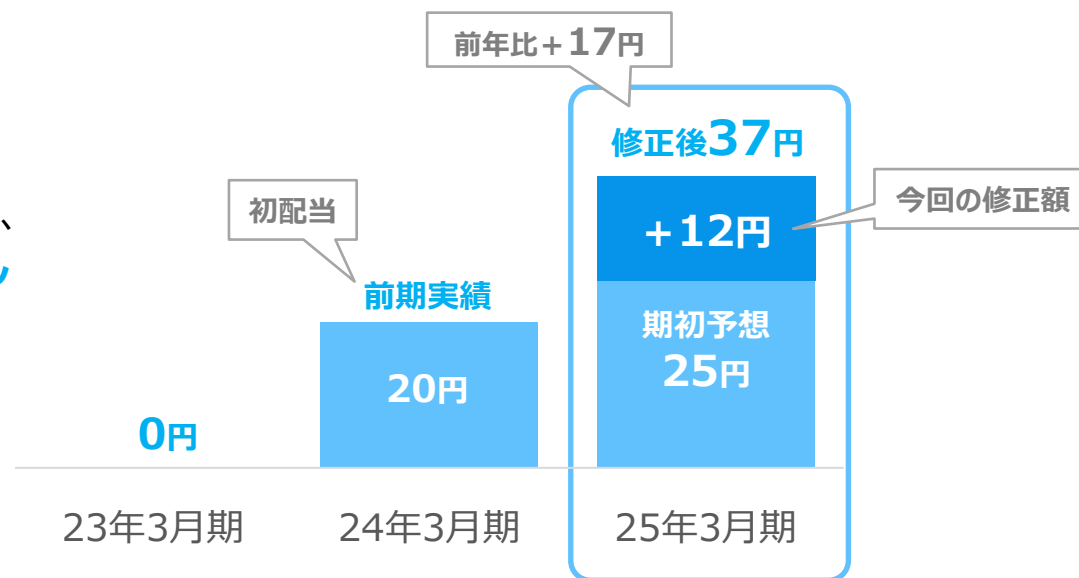
(百万円)	2025年3月期業績予想		前年比	
	前回	今回修正	前年実績	増減
売上高	4,820	5,220	4,270	22.2%
営業利益	625	680	496	37.1%
経常利益	625	680	489	39.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	440	475	337	40.9%
1株当たり 当期純利益	169.87円	183.38円	123.01円	—

* 1株あたり当期純利益は、期中平均株式数（前回発表予想時は2,590,291株、今回実績は2,590,281株）にて計算

配当予想の修正（増配）、配当方針の変更

【配当予想の修正（増配）】

業績状況を踏まえ、当期の期末配当金を、
前回発表予想の25.0円から**12円増配し**
37.0円へ修正



【配当方針の変更（株主還元の拡大）】

株主の皆様への利益還元の充実を目的として、配当方針を下記へ変更

変更後の 配当方針	連結配当性向20%以上かつ株主様への利益還元の安定拡大を目標とする 当社の経営方針は、持続的な事業成長と着実な企業価値の向上であり、配当については、成長投資とのバランスをとりつつ株主様への利益還元の安定的な拡大を基本方針とする
--------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 2025年3月期第3四半期 決算概要
2. 業績予想の修正、配当予想の修正（増配）、
配当方針の変更
3. Appendix



当社医療技術への高い評価（受賞歴）

関東・東京合同地区獣医師大会にて
学会長賞・奨励賞を9年受賞

日本獣医師会が主催する大会で、会員のおよそ半数が所属する地区の学術学会において、今年も受賞（9回目）



2013年度	胸腺腫の猫に見られた剥脱性皮膚炎の1例	
2014年度	肺吸虫感染の犬の1例	
2015年度	腎瘻チューブ設置後に腎切開による結石摘出を行った犬の1例	
2016年度	プレドニゾロンが奏効した猫消化管好酸球性硬化性線維増殖症の3例	
2017年度	ガイドワイヤーの使用により尿路確保が可能となった尿道異常の4例	
2018年度	外科的治療により長期生存している肝外胆管癌の猫の2例	2題受賞
	硬化性胆管炎が疑われた犬の1例	
2019年度	前腕の広範囲皮膚欠損創に遊離全層植皮術を実施した犬の2例	2題受賞
	肝管空腸吻合を行った肝外胆管閉塞の猫の2例	
	巨大な犬の原発性肺腫瘍に対する肋間開胸と横切開旋回開胸の比較	
		中部地区も受賞
2020年度～	コロナ禍による行動制限の影響あり	
2023年度	稀な発作徴候を示し脳波検査によりてんかんと診断した犬の2例	
2024年度	卵巣遺残を疑診したラグドール種の猫で留意する点	

動物臨床医学会にてAwardを受賞



大阪で毎年開催される国内最大級の獣医系学会である動物臨床医学会年次大会において、昨年発表した演題が表彰を受ける

「腫瘍分科会Award」
長期経過後に肺転移した肝細胞癌の犬の2例

「消化器分科Award」
幽門狭窄に対してY-U幽門形成術を実施した猫の2例

株式会社キャミック

- ・日本初のMRI、CTによる動物検診センターとして2005年開業
- ・一次診療施設からの完全紹介制
- ・首都圏3ヶ所（東京都世田谷区、東京都江戸川区、埼玉県さいたま市）で画像診断サービスを提供
- ・年間6,500件以上の画像診断の実績

テルコム株式会社

- ・酸素ハウス（酸素濃縮器と専用ケージ）のレンタル及び販売
- ・主に飼主様向けにレンタル、一次診療施設向けに販売を行う
- ・全国に3営業所（神奈川県横浜市港北区、大阪府大阪市福島区、福岡県福岡市博多区）、5か所の特約店及び24か所の代理店
- ・全国約5,500以上の病院で利用の実績

最新のニュース



動物検診センター
キャミック

📍 キャミック城南

AI搭載 新型MRI導入



AI(ディープラーニング技術)を用いた
ノイズ除去再構成技術を搭載した
超伝導 1.5 テスラ DLR-MRI「Canon Vantage Fortian
〜ヴァンテージ フォルティアン〜」を導入
高精細化による診断能向上と
撮像時間の短縮が可能となりました。

新しい機器の特徴

- 獣医療界初のキャノン新開発 AI 技術「PIQE」搭載
- AI 技術による短時間撮像を実現 (3.0T MRI 以上の撮像 / スピードを実現 ※当社比)
- ゴア径 大型 71cm 超大型犬も対応可能
- マイクロチップアーティファクトを大幅に軽減 (他機種以上の軽減 ※当社比)

画像見本 (T2WI) ※AI補正あり



グレープフルーツでの比較画像

(左) キャノン超伝導 1.5T Fortian
(右) 当社導入 超伝導 3.0T
※いずれも撮像時間 2分程度の同等条件

最新のニュース

酸素ハウス®
terucom

ペットの在宅ケアに

ペット用酸素ハウス®



お部屋の空気から、高濃度の酸素をつくり出す酸素濃縮器と酸素をためるケージを組み合わせてペットの酸素吸入を助けます。

IoT
モニタリング
機能

軽量

静音

低消費
電力

テルコム社製「ペット用酸素ハウス®」3つの特徴

- 酸素濃縮器** 空気から酸素以外の成分を取り除くことで、高濃度酸素を生成しています。ポンベと違い、酸素がなくなることはありません。
- 専用ケージ** 流量が多いので、ケージの中に酸素を供給しながらペットが吐き出した二酸化炭素をケージの中から押し出し、換気できるように作られています。
- 操作方法** テルコムの酸素ハウスは、器機とケージをホースでつないでスイッチを入れるだけで簡単に利用開始できます。

NEW

軽量化 約16kgまで軽量化(従来品は23kg)

静音性 45dB以下まで下がりました。

消費電力 従来品より31%削減

Pick up!
新型器には「IoTモニタリング機能」を搭載。
遠隔操作により弊社側で酸素濃度をモニタリングし、器械の状態を把握できます。器械の性能低下を把握できるので、適切なタイミングで器械交換が可能となります。



動物検診センターキャミック **営業時間** 9:00~18:00 (3施設共通)

キャミック城北
埼玉県川口市有馬町東平塚2-1-5
TEL 048-606-3732

キャミックひがし東京
東京都江川区東東馬場4-10-6
TEL 03-6808-2139

キャミック城南
東京都世田谷区西馬場4-19-12
TEL 03-5752-5033



公式 SNS はじめました!



テルコム株式会社
TEL 9:00~18:00 (3営業所共通)
0120-326-002

テルコム横浜
TEL 045-947-2903
神奈川県横浜市北區新吉田東 8-27-20

テルコム大阪
TEL 06-6460-7007
大阪府大阪市福島区白野 4-15-2

テルコム福岡
TEL 092-408-8021
福岡県福岡市博多区新洲 1-7-22
アルファージュ1階



①

一次診療施設からの紹介数の拡大

ポイント：連携病院数・診療エリアの拡大、顧客満足度の向上

→既存病院で連携病院数の拡大や大阪病院をモデルとした診療エリアの拡大など

②

診療キャパシティの拡大

ポイント：獣医師数の確保、診療体制の強化・拡大

→計画的な獣医師採用や業務の効率化、設備補強、施設拡大など

③

グループ連携の強化

ポイント：テルコム、キャミックの成長、グループ間連携

→上記①②にも寄与するグループ間の連携によるシナジー効果など

当社の優位性と業界比較

- ニーズが拡大する二次診療分野において、(有形・無形の) **資本力、対応力、総合力**で優位性を有する
- これが**高い顧客満足度** (※)、**診療数の拡大** につながっている (※ 顧客 = 連携病院、飼い主様)

病院の区分	JARMeC	獣医科大学病院	単科二次診療施設
休診日	年中無休	土日祝・夏季・年末年始休業	365日営業が難しい
診療科数	12	10~19	1
診療の特徴	資本力・対応力・総合力で優位	学生教育・研究に重点 急患対応が難しい など	総合的な対応が難しい 大型投資が難しい など

理由

365日、かかりつけ医のすぐそばにいる高度医療チーム

(有形・無形の) 資本力

- ・最先端の医療設備、資金調達力
- ・独自に培ってきた、優れた無形資産

上場企業の信用力
優れた医療設備
最先端の診療機器

実績とナレッジの蓄積
専門性とチームワーク
連携病院との信頼関係

対応力

- ・年中無休、柔軟な受入体制
- ・高度な技術とホスピタリティ

12の専門診療科
高度な獣医療技術
積極的な臨床研究

年中無休
迅速な急患対応
高いホスピタリティ

総合力

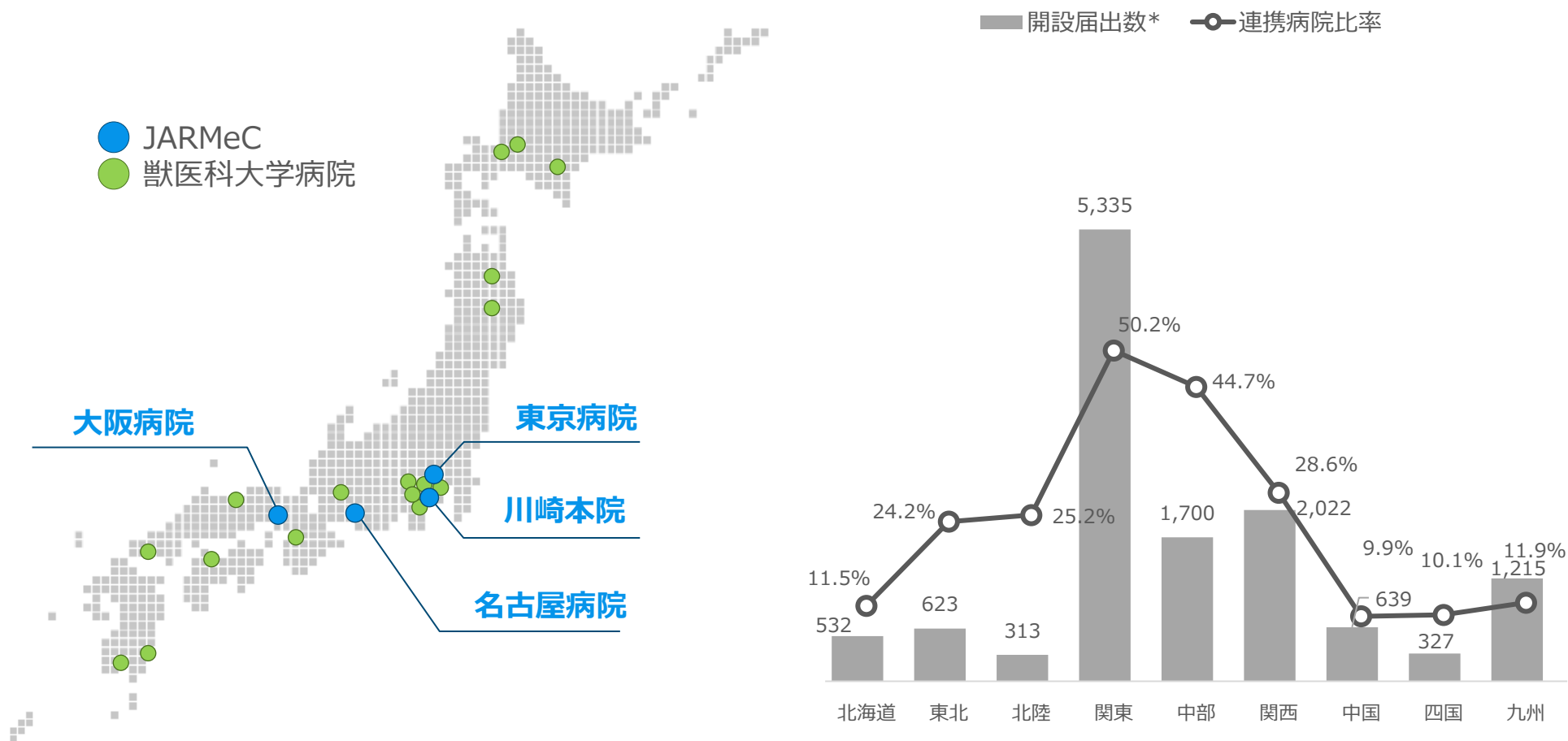
- ・チームによる総合診療体制
- ・かかりつけ医との緊密な連携

複数診療科での
チームによる
総合診療体制

かかりつけ医との
緊密な連携と
情報共有

現在の拠点とエリア別状況展開

- 現在は関東に川崎本院・東京病院、中部に名古屋病院、関西に大阪病院の4拠点を展開
- 開設届出数（一次診療施設数）の多いエリアへの展開を検討中

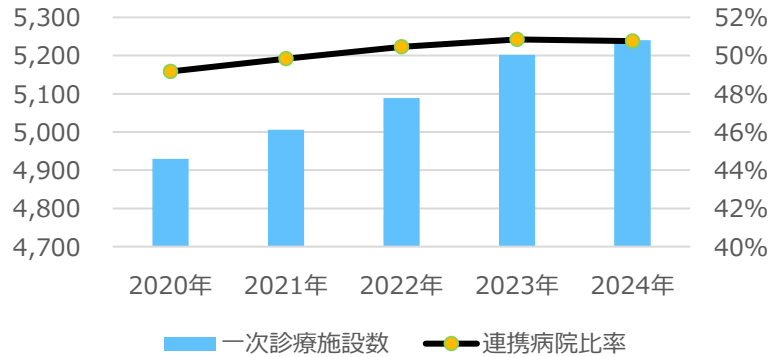


*開設届出数は農林水産省（令和5年12月末時点の小動物診療施設の件数）

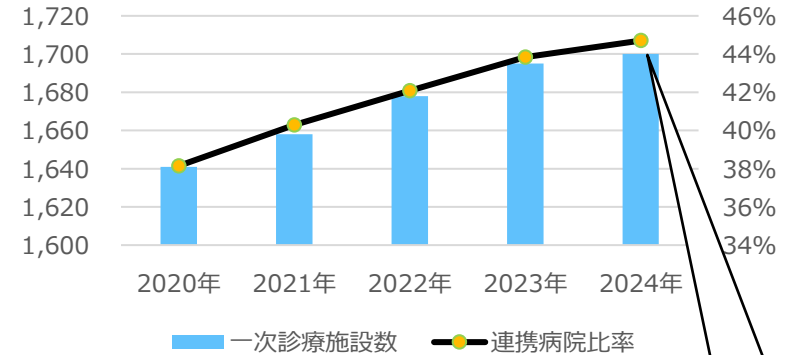
エリア別でみた連携病院比率

- 川崎・東京病院エリアでは連携病院比率は50%を超える→2つの病院で連携先を安定的に拡大
- 名古屋病院エリアの連携病院比率は継続的に伸びる→さらなる成長を目指す
- 大阪病院エリアでは拠点開設の直前から急激に連携病院比率をアップ→連携先の拡大を継続

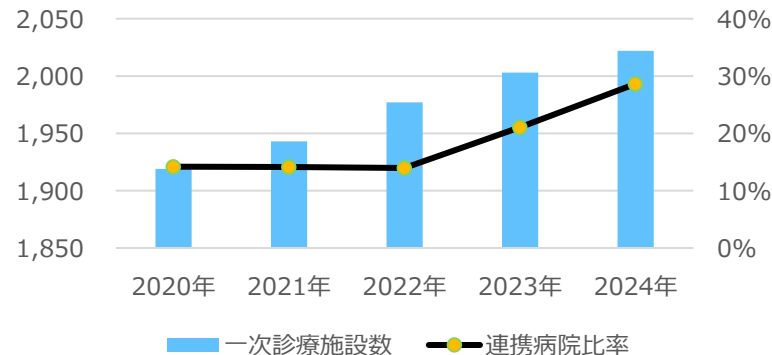
川崎・東京病院エリア



名古屋病院エリア



大阪病院エリア



連携率が
伸び続けている

*一次診療施設数は農林水産省（小動物診療施設の件数）の開設届出数をもとに算出

＜見通しに関する注意事項＞

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

＜お問い合わせ先＞

株式会社日本動物高度医療センター
管理部 経営企画課 IR担当
044-850-1320
e-mail : ir@jarmec.jp